

木津川市社会教育委員会 開催結果要旨

会議名	第6回 木津川市社会教育委員会		
日時	令和6年3月12日(火) 13時30分～14時50分まで	場所	市役所 庁舎第2北別館
出席者	委員	■高原 和子    ■木村 勝    ■三上 かず子    □花田 康子 ■三谷 博之    ■橋本 京子    □井上 若菜    ■渡邊 素子 ■藤澤 正典    ■今井 清美    ■石田 康二    ■芝原 昌代 ■新谷 涼太郎    ■中川 嗣郎    ※□:欠席者	
	事務局	吉岡次長、東村課長、藤田課長補佐、堀係長	
<p><b>1. 開会</b> 高原委員長から開会にあたり挨拶があった。</p> <p><b>2. 議題</b> ①令和6年度社会教育の重点(案)について 資料を基に事務局より令和6年度社会教育の重点(案)について、説明を行った。</p> <p>(委員) 各基本目標の施策において、(1)の部分にだけ赤字で【具体的な取組】とあるが、削除してはどうか。 体系図における3つの矢印が黒で重々しいため、同じように青にしてはどうか。</p> <p>(委員) 社会教育の重点として、社会教育イコール生涯学習になっている感じで、生涯学習ニアリーイコールではあると思うが、社会教育を推進するにあたって、具体的なメニューの内容は生涯学習を推進するということで、結論的にはこれで推し進めたら結果的に社会教育が進んでいくということになると思うので、それでいいとは思っている。ただ、社会教育の重点の中身が生涯学習ということで、その整理をどのようにしたらいいのか、自分なりに考えたが整理がつかないので、その辺みinnで確認しておく必要があると感じた。</p> <p>(事務局) 教育委員会の中でも学校教育に関することは学校教育で、それ以外のことは社会教育という括りでしており、ニアリーイコール生涯学習は間違いないと思う。学校教育ではカバーしきれない範囲の子供の関係についても生涯学習の中に入ってくると思うが、難しい話である。</p> <p>(委員) これまで「きずなプラン」と入っていたが、この名称は第2次計画ではなくなったのか。</p> <p>(事務局) 第2次計画では付けていない。</p>			

## ②令和6年度社会教育委員事業の予定について

資料を基に事務局より令和6年度社会教育事業の予定について、説明を行った。

(委員長)

9月6日の京都府研究大会兼近畿大会、予定していただき、出席をお願いしたい。また、山城地方の研修大会はアスピアで行われるので、出席、協力をお願いする。

## 3. その他

事務局から次のことについて、報告、説明を行った。

- ・生涯学習推進計画の状況について
- ・令和5年度委員報酬の支払いについて
- ・京都府PTA研究大会について
- ・かも野外音楽フェスタの開催について

## ※生きがい大学について

(委員)

計画の市民アンケートの中でも生きがい大学の改革ということで、意見があったと思うが、今後、市民の声は反映されるのか。

(事務局)

ご意見については、批判的な意見も多く、関心のある方から厳しい意見があったと承知している。明後日にも運営委員会があり、その中でアンケート結果を出して、情報共有を図り、令和6年度から直ちに見直しをすることは無理であるが、毎年内容も同じで、参加者の方も同じであることから、将来的に見直していく必要はあると思っている。

○次回委員会の日程を調整し、4月17日(水)13:30から行うこととなった。

## 4. 閉会

三上副委員長から閉会の挨拶があった。

以上

その他特記事項

なし